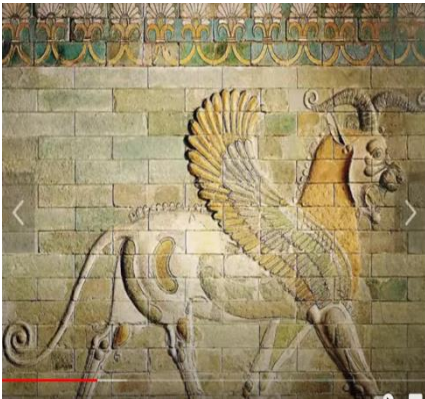


4 第一のものは獅子のようで、鷲の翼をつけていた。

これは先ほどの新バビロニア帝国。ネブカドネツアル王で有名な、あの**バビロニア帝国**のこと。バビロニア帝国の首都はバビロン。現イラクです。



イラクの古代遺跡を掘ると、新バビロニア帝国時代の物がザクザク出て来るのですが、**鷲の翼を持ったライオン**のレリーフ、もう石灰化しているのですが、壁に浮き彫りにされている物が発掘されています。

ライオンは百獣の王。鷲は猛禽類の王ですね。王と王を合体。非常に風格があり、リッチで豪勢な国だったのです。しかし、驕（おご）れる者久しからず。バビロニア帝国はやがて、**熊**に描写されている国に滅ぼされます。

5 すると見よ、熊に似た別の第二の獣が現れた。

その獣は横向きに寝ていて、その口の牙の間には三本の肋骨があった。

熊に似た別の第二の獣が現れた。ということは、今までいた**鷲の翼を持つ獅子**を追っ払った。ぶっ倒した。ぶちかましたんですね。

その獣は横向きに寝ていて。うまく訳したなと思います。

原文の直訳は「一方の側が立ち上がっていて」。これをどうして**横向きに寝ていて**と訳したのか。横向きに寝ると、体の一方は下敷きになり、もう一方は上になりますよね。

下敷きになっている腕は動かすことができず、上になっている方は自由に動かせます。

バビロニア帝国を滅ぼしたのは、2つの国が連合した連合国家**メド・ペルシア**です。

メディア王国とペルシア王国が連合し、メド・ペルシア王国としてバビロニア帝国を滅ぼしました。しかし、メディア王国はペルシア王国に吸収されてしまうんです。

それを成し遂げたのは、ペルシア王国の偉大な王であるキュロス王。

寝ていて、キュロス王の時代にベルシャツアル王が殺されるのです。

豪華絢爛のバビロンは一夜にして、無傷の状態、無血開城で滅びてしまったんですね。

ペルシア帝国は非常に広大でした。なんとアフリカまで、そしてインドの一部も治めてしまう。

だから当然、地中海もペルシアの手に落ちたんです。

ところが、このペルシア帝国を10年がかりで遠征して陥落させる国が出て来ます。

6 その後、見ていると、なんと、豹のような別の獣が現れた。

その背には四つの鳥の翼があり、その獣には四つの頭があった。そしてそれに主権が与えられた。

四つの翼がある豹は**アレキサンダー大王の帝国**です。ギリシアからインドまでを制圧し、戦争で生涯負けたことが1回もない軍事の天才アレクサンドロス（ギリシア語）。

ドイツ語読みでアレキサンダー。ペルシア語・アラビア語読みでイスカンデル。

アラビアのアラブ人の中では、子供を躾ける時「そんなに聞きわけがないなら、イスカンデルが来るよ！」と言って黙らせた、という話が残っているくらい。

中東から中央アジアからインドに至るまで 10 年間で全部支配するという、オリエント世界をスピーディーに統一したのがアレクサンドロスです。彼は 20 歳で王になり 32 歳で死にました。死んだ時、彼の息子はこの帝国を継ぐには幼過ぎ、彼を支えて来た部下たちがこの帝国を戦争によって 4 つに分割。最終的に 4 つの国に分かれてしまったんですね。

四つの翼は豹を支えていた 4 人の部下たちです。

この 4 つの国の中で最後まで生き残った 2 強が、セレウコス朝シリアとプトレマイオス朝エジプト。セレウコスもプトレマイオスもアレクサンドロスの部下で、その末裔がそれぞれ王国を造っていました。その両方とも滅ぼしてしまったのが**第 4 の獣**です。

ギリシアの末裔であるこの 2 つの国を完全になくしてしまったのが、もちろん**ローマ**なんですね。

7 その後また夜の幻を見ていると、なんと、**第四の獣が現れた。**

それは恐ろしくて不気味で、非常に強かった。

大きな鉄の牙を持っていて、食らってはかみ砕き、その残りを足で踏みつけていた。

これは前に現れたすべての獣と異なり、十本の角を持っていた。

さあ、登場ですよ。アレクサンドロスから分かれ出た国々をすべて滅ぼし支配する**ローマ帝国**。しかしローマ帝国は、後に東西ローマ帝国に分かれたり、そこから色んな国に分かれたりします。そして、ローマの流れを汲む国は時代と共に発達段階を経て、最終的には 10 の連合国家となり、それから 7 つの連合国家になるんです。

黙示録 13 章

1 また私は、海から一頭の獣が上って来るのを見た。これには十本の角と七つの頭があった。

十本の角。反キリスト帝国は 10 の連合国家でスタートします。

七つの頭。ローマ帝国は 7 段階を経て、最終的に反キリスト帝国になるということです。

反キリストが治めるローマ帝国は、7 段階の発達を経て最終形態になってるんですね。

ローマの 7 段階については **17 章**で詳しく説明します。

さて結論です。反キリストはどこから出て来るのか。地中海覇権のローマ帝国の末裔なんですね。

ですから、プーチンではありません。彼はローマ人の末裔ではないから。

習近平でもありません。彼は漢民族ですから。ローマ系とは関係ない。

アメリカからも出ません。アメリカは地中海から離れているから。

反キリストはローマ帝国の末裔で、地中海世界/すなわちヨーロッパから出て来るんです。

これから世界の鍵を握るのはヨーロッパ。ヨーロッパから目を離すことはできなくなると思います。

反キリストについては **13 章**ビッシリ書いてあるので、しばらくは、この人物に注目しながら解説したいと考えています。よろしければ、またお付き合い下さい。

チャンネル登録もお願いします。ではまた お目にかかりましょう。皆さん、お元気でいてください。

さよなら！

☆使用した聖書は「聖書 新改訳 2017」です。